

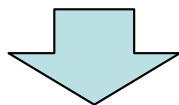
既設ダムの有効活用について (利水者への意見照会)

国土交通省 近畿地方整備局
独立行政法人 水資源機構

◆活用可能な利水容量について

◆構成員からのご意見 【第3回幹事会】

『(水需要の情勢の変化は)今後の「他用途ダム容量の買い上げ」の検討に影響することから、これらが反映されるよう早期に利水者に水需要の動向をしっかりと確認し、検討を進めていただきたい。』



関係利水者への意見照会を実施。(H24.11.7 送付、H24.11.14~12.4 回答)

【意見照会の内容】

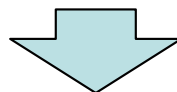
- 川上ダムの目的である治水・新規利水・流水の正常な機能の維持(既設ダムの堆砂除去のための代替補給を含む)の各対策案の検討において、現状で活用することができる水源の有無。

【利水者からの回答】

- 利水者からの回答を踏まえ、各ダムの活用可能な利水容量は以下のとおりである。 (単位:千m³)

対象ダム [水道用水容量]	高山ダム [9,100]	青蓮寺ダム [8,900]	比奈知ダム [7,000]	日吉ダム [6,400]
活用可能な利水容量	7,600	6,700	1,400	3,200

- ※ 活用可能な利水容量については、利水者から回答のあった水量に基づき、各ダムの水道用水容量を開発水利量比で按分している。
- ※ 活用可能な水源が「有り」と回答のあった利水者のうち、一利水者については定量化できない旨の回答があったため、当該利水者の対象ダムにおける開発水利量については、全量活用できるものと仮定している。



上記の活用可能な利水容量を用いて、各対策案の検討を行う。